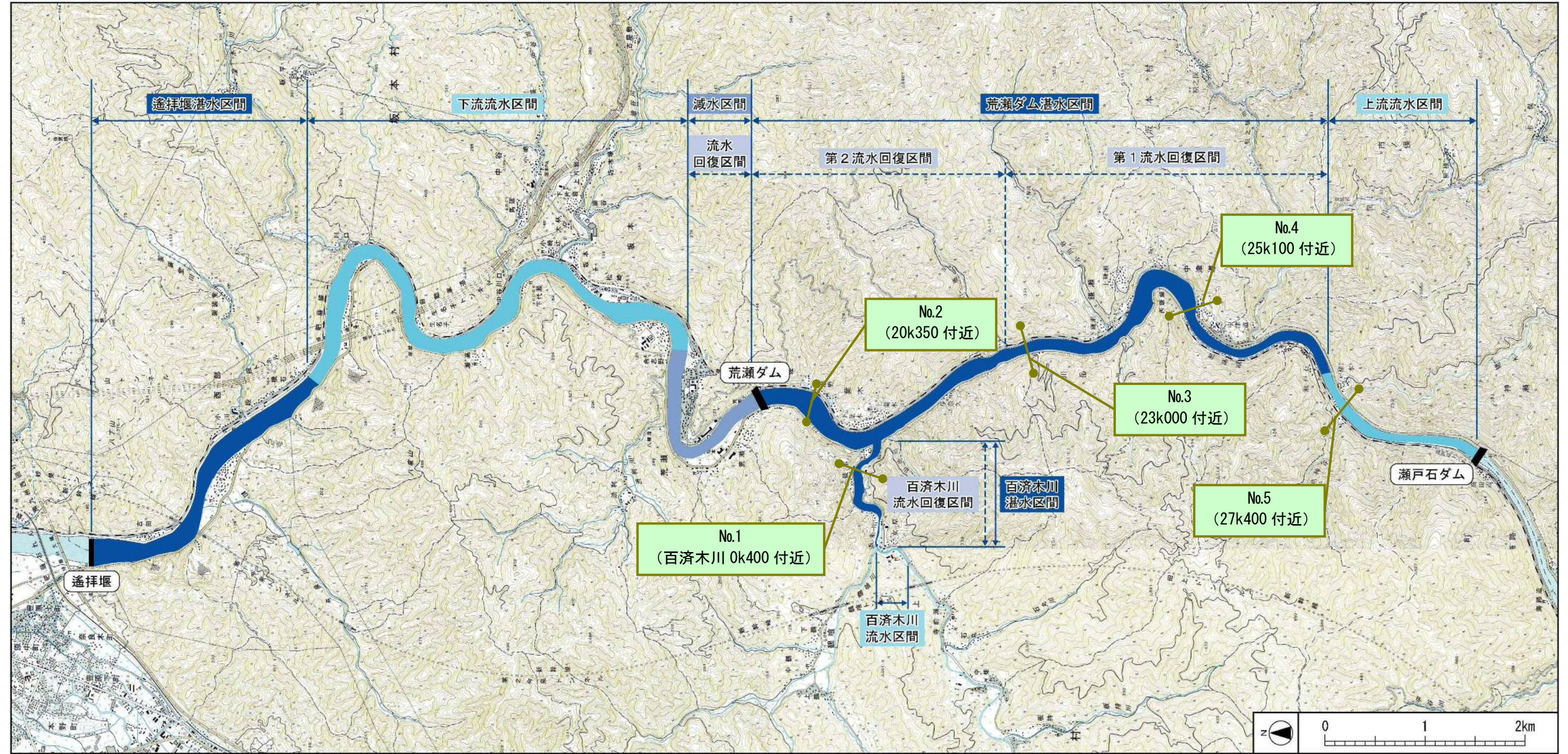


4) 植物（ベルトトランセクト）

【参考資料 I -321参照】

評価項目	視点	平成 27 年度の調査結果概要	評価概要
出水前後や工事実施前後の変化状況	出水や荒瀬ダム撤去関連工事(水位低下、河川形状の変化等)の影響把握	冠水頻度や河川形状等の変化により攪乱が生じ、植生群落が変化しているものの、全体的には、H26 年度～H27 年度にかけて大きな変化はみられない。	- 第 2 流水回復区間や支川百済木川 (No.1) では、H22 年 4 月のゲート開放、H25 年 6 月の水位低下装置設置や平成 27 年 3 月のみお筋部撤去により水位が低下し、外来種を主とする群落を中心に、河岸植生が繁茂するようになった。 - しかし、遷移途上であり、今後は在来種を中心とする河岸植生に変化し安定するかモニタリングを継続する。



※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。

〔H26年度⇒H27年度の変化状況〕

- 左岸の群落構成が変化した。出水等により一時的に形成された水溜りに在来植生のジュズダマ群落が成立したが、今後変化すると思われるため、モニタリングを継続していく。
- 河床低下により、左岸の水際が裸地化した。

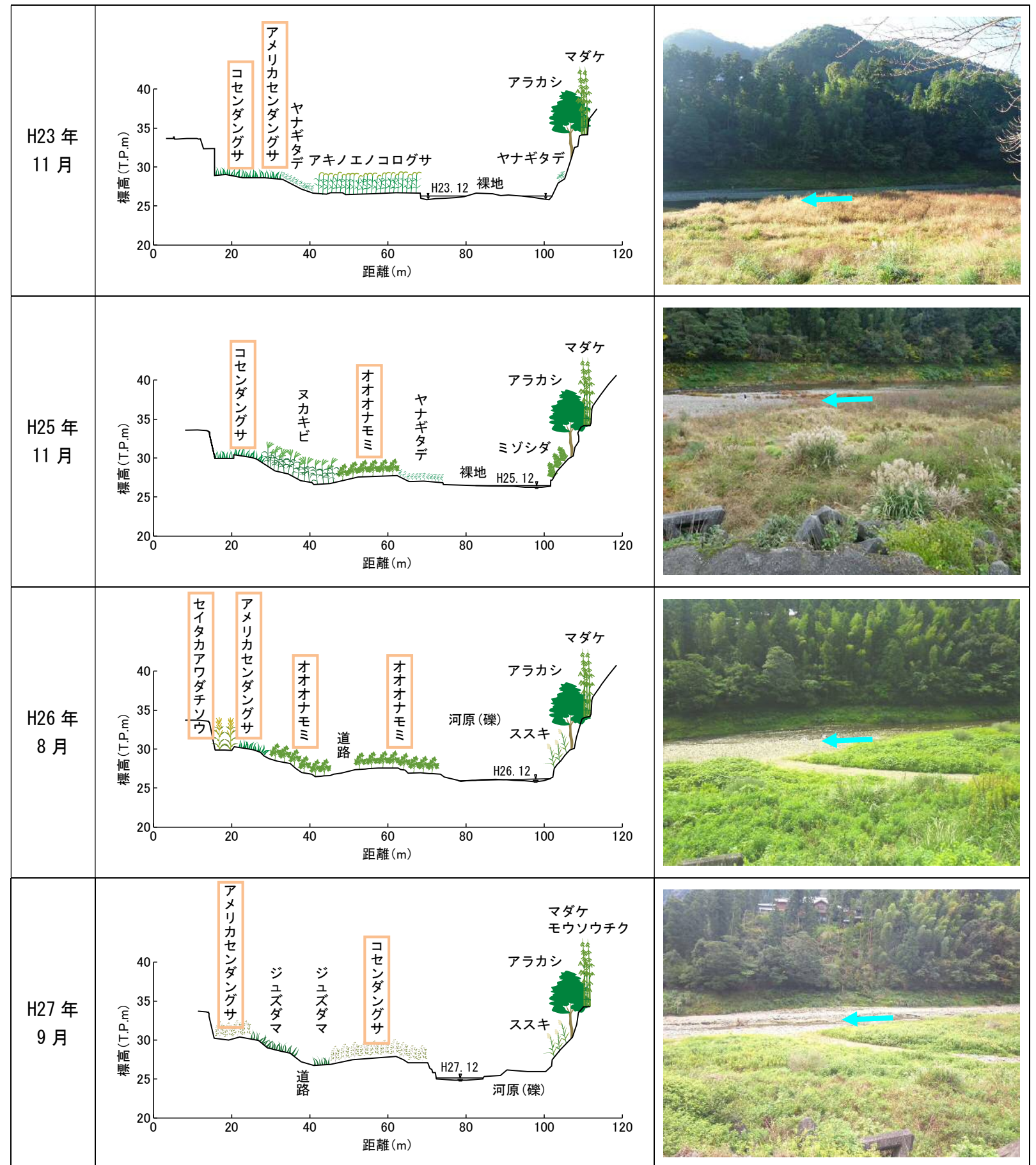


〔H23年度以降の変化状況〕

- H22年4月のゲート開放により水深が低下して止水環境から流水環境へと変化した後、河川の規模が小さいために毎年の出水で河川形状が変化し、左岸の草本類の群落構成も変化している。それに応じて、外来植生の優占度も変化している。

	左岸		右岸	
平成23年度	コセンドングサ群落	外来	アラカン群落	在来
	アメリカセンダングサ群落	外来	ヤナギタデ群落	在来
	ヤナギタデ群落	在来		
	エノコログサ群落	在来		
平成25年度	コセンドングサ群落	外来	アラカン群落	在来
	ヌカキビ群落	在来	ミゾシダ群落	在来
	オオオナモミ群落	外来		
	ヤナギタデ群落	在来		
平成26年度	セイタカアワダチソウ-アメリカセンダングサ群落	外来	アラカン群落	在来
	オオオナモミ群落	外来	ススキ群落	在来
平成27年度	アメリカセンダングサ-オオオナモミ群落	外来	アラカン群落	在来
	ジュズダマ群落	在来	ススキ群落	在来
	コセンドングサ群落	外来		

：外来種を主とする群落



〔H 2 6 年度⇒H 2 7 年度の変化状況〕

- ・H27 年 3 月に荒瀬ダムのみお筋部が撤去され、河床が大きく低下し、左右岸の水深が増加した。また、掘削工事や瀬の造成工事も実施され高水敷の形状も変化した。
- ・右岸の群落構成が変化した¹が、水辺や荒れ地に生育する草本群落が優占する状況は変わらない²。また、右岸の河原では未だ植生が未発達である。

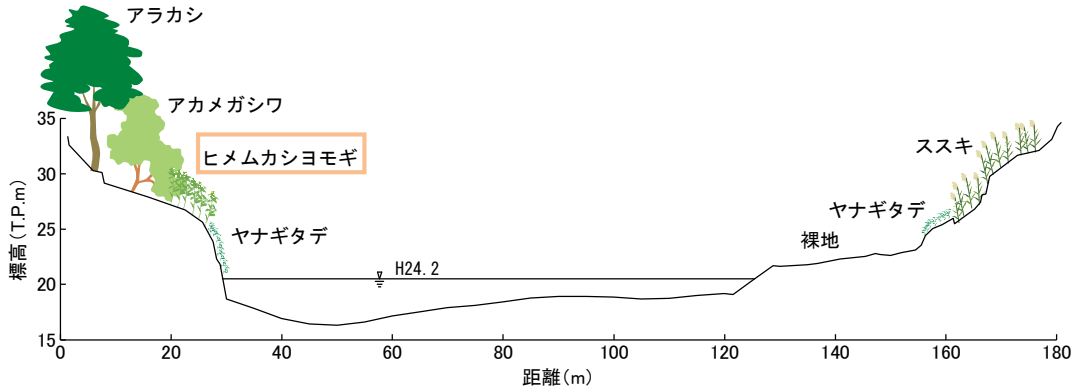
〔H 2 3 年度以降の変化状況〕

- ・ダム堤体部工事（H25 年 6 月の水位低下装置、H27 年 3 月のみお筋部撤去）により水位が低下し、また、毎年の掘削工事や出水で河川形状が変化することにより、主に右岸の草本類の群落構成が変化しているが、水辺や荒れ地に生育する草本群落が優占する状況は変わらない²。

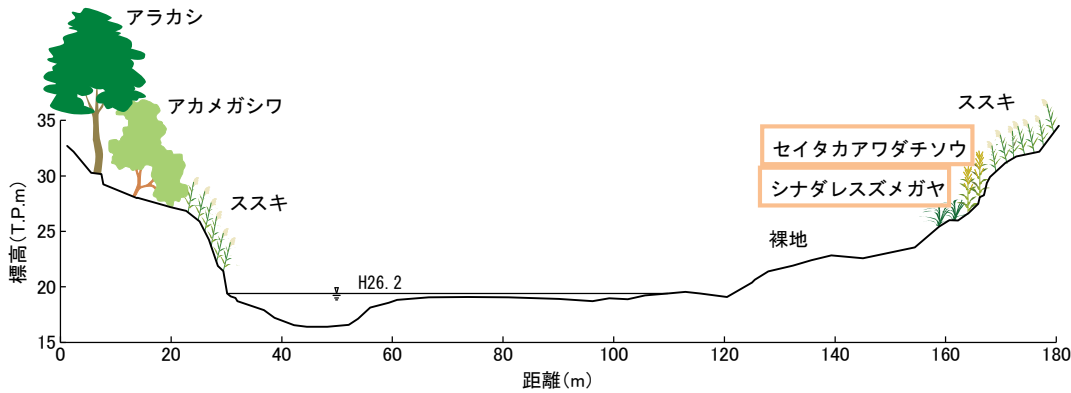
	左岸		右岸	
平成23年度	アラカシ群落	在来	ススキ群落	在来
	アカメダシワ群落	在来	ヤナギタデ群落	在来
	ヒメムカシヨモギ群落	外来		
	ヤナギタデ群落	在来		
平成25年度	アラカシ群落	在来	ススキ群落	在来
	アカメダシワ群落	在来	セイタカアワダチソウ群落	外来
	ススキ群落	在来	シナダレスズメガヤ群落	外来
平成26年度	アラカシ群落	在来	ススキ群落	在来
	アカメダシワ群落	在来	セイタカアワダチソウ群落	外来
	シナダレスズメガヤ群落	外来	シナダレスズメガヤ群落	外来
			ヤナギタデ群落	在来
平成27年度	アラカシ群落	在来	ススキ群落	在来
	アカメダシワ群落	在来	ジュズダマ群落	在来
	シナダレスズメガヤ群落	外来	シナダレスズメガヤ群落	外来

 : 外来種を主とする群落

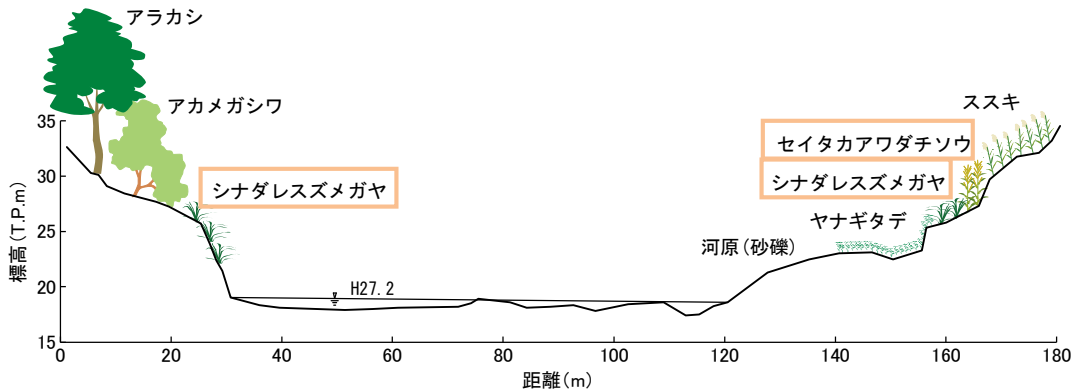
H23 年
11 月



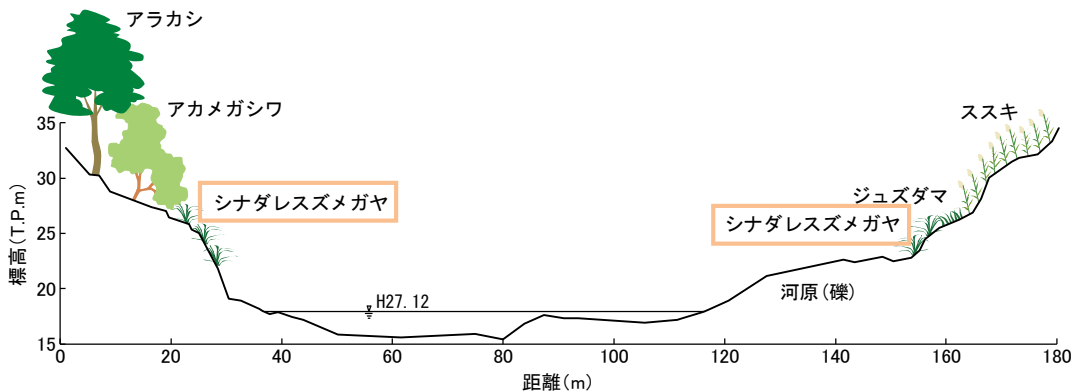
H25 年
11 月



H26 年
8 月



H27 年
9 月



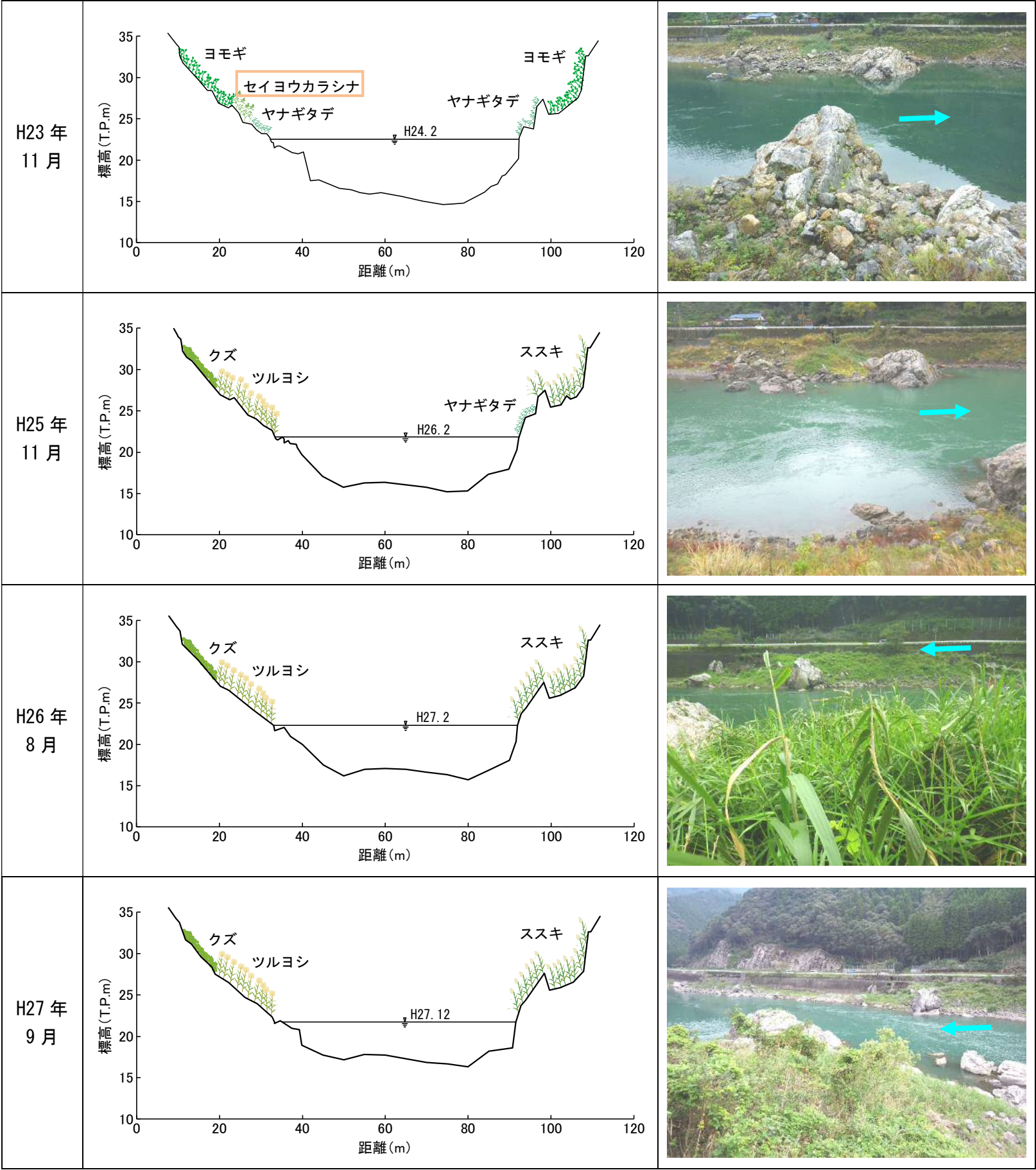
〔H 2 6 年度⇒H 2 7 年度の変化状況〕

- ・H27 年 3 月に荒瀬ダムのみお筋部が撤去されて水深が低下し、左右岸の石灰岩塊が更に露出した。
- ・左右岸ともに種構成に変化はみられない。また、石灰岩に生育する重要種(クマガイノモトソウ等)は確認されていない。

〔H 2 3 年度以降の変化状況〕

- ・ダム堤体部工事 (H25 年 6 月の水位低下装置、H27 年 3 月のみお筋部撤去) により水位が低下し石灰岩塊の露出度が高くなったが、岩上やその周辺に生育する群落に変化はみられず、また石灰岩に生育する重要種も確認されていない。

	左岸		右岸	
平成23年度	ヨモギ群落	在来	ヨモギ群落	在来
	セイヨウカラシナ群落	外来	ヤナギタデ群落	在来
	ヤナギタデ群落	在来		
平成25年度	クズ群落	在来	ススキ群落	在来
	ツルヨシ群落	在来	ヤナギタデ群落	在来
平成26年度	クズ群落	在来	ススキ群落	在来
	ツルヨシ群落	在来		
平成27年度	クズ群落	在来	ススキ群落	在来
	ツルヨシ群落	在来		
	:外来種を主とする群落			



【No.4 球磨川 25k100 付近】

〔H 2 6 年度⇒H 2 7 年度の変化状況〕

- ・左岸の河床が低下した。
- ・右岸の水際植生が変化しているが、左岸には変化がみられない。右岸の水際植生は毎年の冠水頻度の変化に対応して植生が変化するが、左右岸の河畔林など全体としては大きな変化はみられない。

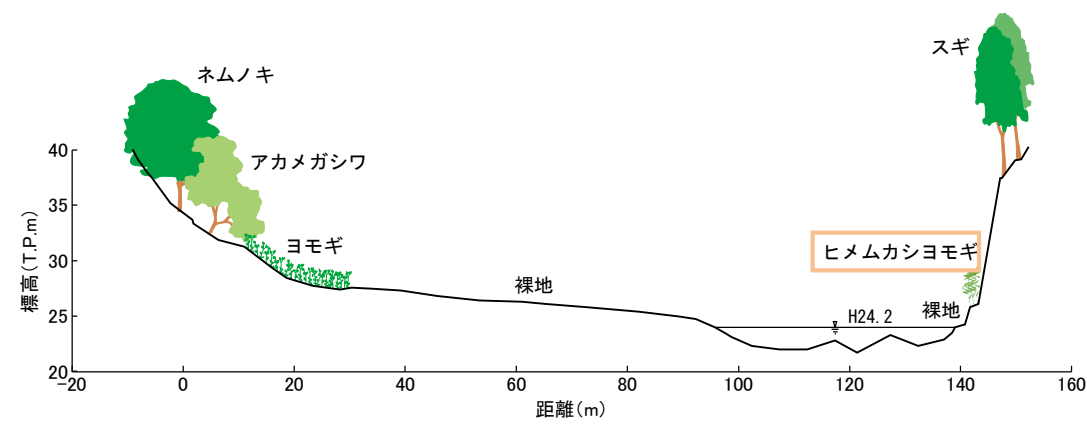
〔H 2 3 年度以降の変化状況〕

- ・調査測線が大きな蛇行部に設置されているため、毎年の出水規模の違いにより土砂の流出量に変化し、それによって河床も変化する。また水際の冠水頻度も変化する。しかし、左右岸の河畔林など全体としては大きな変化はみられない。

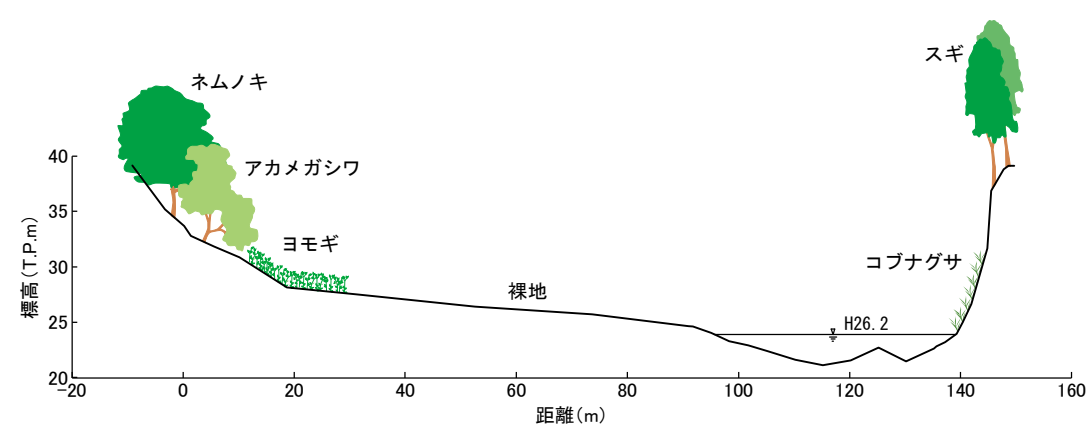
	左岸		右岸	
平成23年度	ネムノキ-アカメダシワ群落	在来	スギ植林	在来
	ヨモギ群落	在来	ヒメムカシヨモギ群落	外来
平成25年度	ネムノキ-アカメダシワ群落	在来	スギ植林	在来
	ヨモギ群落	在来	コブナグサ群落	在来
平成26年度	ネムノキ-アカメダシワ群落	在来	スギ植林	在来
	ヨモギ群落	在来	コチデミグサ群落	在来
平成27年度	ネムノキ-アカメダシワ群落	在来	スギ植林	在来
	ヨモギ群落	在来	ススキ群落	在来

：外来種を主とする群落

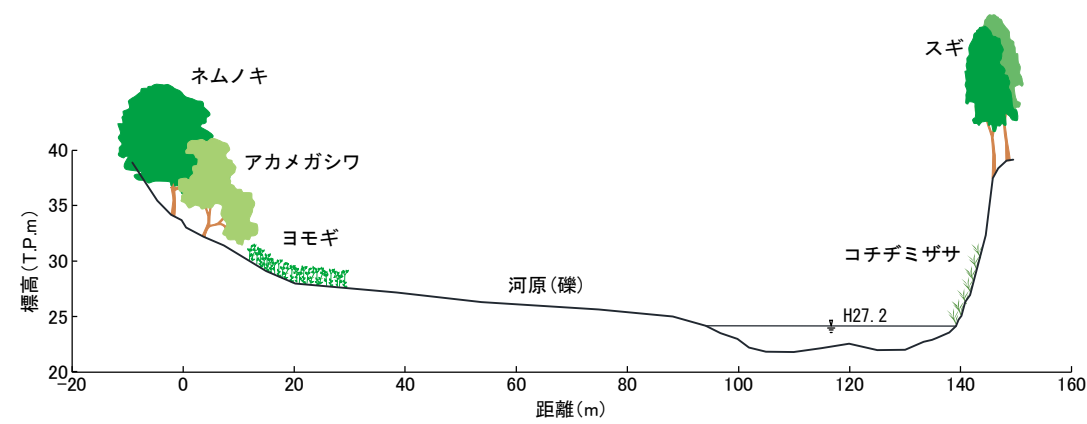
H23 年
11 月



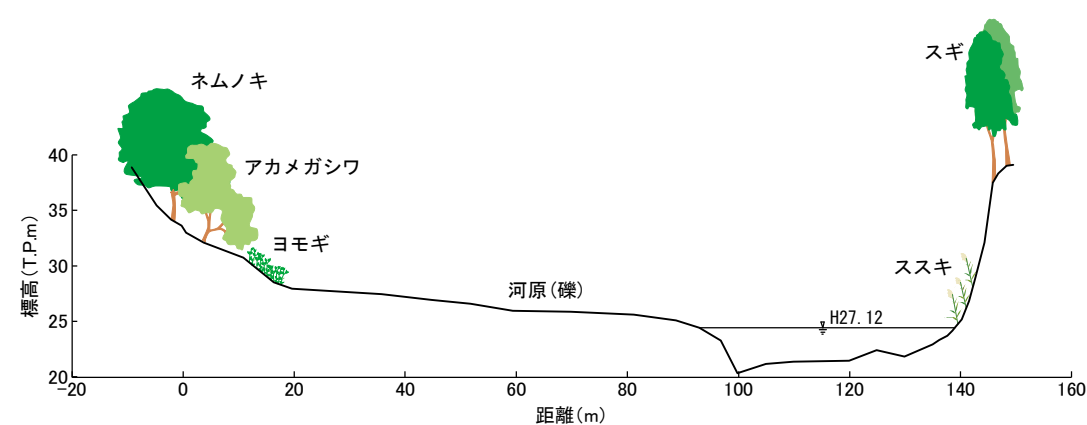
H25 年
11 月



H26 年
8 月



H27 年
9 月



〔H 2 6 年度⇒H 2 7 年度の変化状況〕

- ・横断形状に大きな変化はみられない。
- ・左岸の河原の植生は毎年の冠水頻度の変化に対応して変化するが、左岸のメダケ林や右岸の植生に変化はみられないことから、全体としては大きな変化はみられない。

〔H 2 3 年度以降の変化状況〕

- ・左岸はメダケ林以外の草本植生は、毎年の冠水頻度の変化に応じて変化している。右岸の植生には変化がみられない。

	左岸		右岸	
平成23年度	ツルヨシ群落	在来	アラカシ群落	在来
	メダケ群落	在来		
	ツルヨシ群落	在来		
平成25年度	ススキ群落	在来	アラカシ群落	在来
	メダケ群落	在来	ススキ群落	在来
平成26年度	セイタカアワダチソウ群落	外来	アラカシ群落	在来
	メダケ群落	在来	ススキ群落	在来
平成27年度	ダンチク群落	在来	アラカシ群落	在来
	メダケ群集	在来	ススキ群落	在来
	ススキ-ツルヨシ群落	在来		

外来種を主とする群落

